

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

2022-23年度活動テーマ「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

2023・地場の大豆プロジェクト（中間報告） ～大雨、猛暑を耐え抜き 頑張って育っています～



(↑) つくば自然農園・坂さん（右から3人目・後ろ）と （9/30・大豆の除草会にて）

昨年2021年よりスタートしました、地場の「大豆プロジェクト」（※）。

毎年お正月明けから、多くの組合員家庭で仕込まれる「手作り味噌」用大豆として、今年は5名の生産者にご協力いただき、鋭意育成中です。

組合員、職員も「猫の手」くらいにはなるべく、草取りを実施。農薬無し、除草剤無しで育てる大変さを肌身で実感しました。

今年の夏の種蒔き時期は早々に大雨、そして「60年に一度」と言われるほどの酷暑が襲い、まず各生産者、「発芽」させることに苦労しました。

10月現在、「生き残った」大豆たちはまだ青々としていますが、今後じっくり完熟、乾燥させてから収穫、選別となります。

恐らく、「豊作」というわけにはいきませんが、収穫をぜひお楽しみに！今後も「大豆プロジェクト」にご注目ください。 ※2ページへ続く。

2023年10月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総つ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！ ・10/21(土)平和の集い「歴史を学ぼうー未来のために」講座 ・10/25(水)定例理事会 & 生協まつり実行委員会 ・10/28(土)生協まつり	・10/28(土)～29(日)光風台まつり

農産物の国内自給率の低下、異常気象、遺伝子組み換え等々、食をめぐる問題が尽きない中、「自分たちが食べるもの、中でもせめて毎年仕込む味噌用大豆くらいは地域でなんとか自給できないだろうか？」という問題意識から2021年に再起動したプロジェクト。

(ご協力生産者の状況を一部ご紹介)

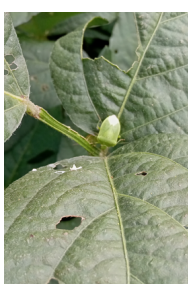
アグリ古柿土（横瀬さん）



(8/19) シロザという雑草が
繁茂。。。頑張れ大豆！



(9/30)「まあまあ順調」と坂本さん。
ただ、カメムシも頑張ってます。



(10/12)「暑すぎて発芽が厳しかった！
でも実入りはまあまあ」と横瀬さん。

[illegible]

「いつものお醤油が切れちゃった！でも、生協の注文書は出してしまった！」

そんな時、「配達日の前日・夕方5時まで（※）」でしたら、電話・ネットで注文できる商品があります（食品163点、雑貨品32点）。
ぜひご活用ください！（※）月曜コースの方は、土曜日・夕方5時まで。

～利用者の声～

「わが家の味」を決める常総の基礎調味料。突然のストック切れの時には本当に助かります！
(つくばみらい市・Kさん)

【講演会のお知らせ】

講演会「幸せなら手をたたこう」～名曲誕生の知られざる物語～

- 講師: 木村利人(早稲田大学名誉教授、日本生命倫理学会会長)
- 日時: 11月4日(土) 14:00~16:00 13:30開場 開演14:00
- 会場: 取手ウェルネスプラザ (茨城県 取手市 新町2-5-25)
- 入場料: 一般 600円 子供、高校生まで無料



今では、世界中でその国の言語で歌われているほど有名な曲です。しかしこの歌が誕生するには、作詞者の木村先生のフィリピンでの悲しい戦後体験があります。2016年から何度もNHK BSプレミアムでドラマとして放映され、感動に感動を呼びました。

今、ウクライナや各地での戦争の悲劇の中で、平和といのちの大切さを改めて考えたいと思います。軍国少年が反戦、平和を求めるまでになったお話です。

2023年末企画・「しめ飾り」についてのお知らせ（商品部）



毎年年末に紹介しております「市塚さんのしめ飾り・しめ縄」ですが、生産者の市塚さんより「**高齢になり、体力的に作るのが難しくなってしまった**」旨、申し出がありました。

市塚さんは、高校卒業後すぐの昭和47年より47年間に渡り、奥様と二人三脚でしめ飾りの生産を続けてきました。力を込めてしっかりと固く締め上げるのが市塚さんのしめ飾りですが、体力的にも難しくなってしまったとの事です。生協としては、今年だけでも品目を絞って生産を続けてもらいたい意向を伝えましたが、市塚さんの「自分が納得できるしめ飾りを作れない状態で組合員さんの注文を受けるわけにはいかない」とのお気持ちを尊重し、生産継続および商品企画は断念いたしました。

○今年のしめ飾り企画について

「1年間豊かに暮らせるように」と願いを込めて玄関などに飾るしめ飾り。日本の正月は初日の出とともに到来し、稲の実りを示す「穀物」の神「年神（としがみ）様」を家々に迎え入れる習慣で、稲作と深い関わりがあります。しかし近年、しめ飾りを作る技術を持つ職人の数も少なくなり、日本の伝統工芸であるはずのしめ飾りも市販品の多くは外国産に頼っているのが実情です。

常総生協としては、技術を持った生産者が心を込めて生産したしめ飾りをお届けしたいとの観点から今年より以下の生産者にしめ飾りの生産をお願いする事としました。

【茨城県石岡市・八郷・高倉さんのしめ飾り】



生産者は、元宮司さんでもある地元・八郷の高倉弘文さん（写真右）、しめ飾りの作り手としては40年以上のキャリアを持つベテランで、その技術は折り紙付きです。このしめ飾りは、写真左の橋本信一さんの奥様（故・橋本明子さん）が1994年に全国1250名の原告とともに国を相手取って提訴した「減反差し止め訴訟」の裁判費用を捻出するために、リース状にデザインしたお飾りの販売を始めたのがきっかけです（生産者の紹介や取り組みの内容など詳細については商品企画時の11月4回に改めてお知らせいたします）。

材料となる稲「実取らず」は、生産者の高倉さんご自身が無農薬で栽培し、天日干しで乾燥させたものを使用。一つひとつ丁寧に手作りで仕上げています。派手さはありませんが、シンプルながらも稲本来の姿を活かした美しいデザインが特徴です。ラインナップは写真左から「片流れ」、「長型」、「両切り」の3種類になります。



【JA新潟かがやきのしめ飾り】



毎年、年末おせちカタログに掲載している「鏡餅」でお馴染みのJA新潟かがやきのしめ飾りです。JA新潟かがやき・しめ飾り部会の生産者の皆さんが丹精込めて手作りしています。お飾りの付いた煌びやかなしめ飾りには、その一つひとつに生産者の名前が手書きで添えられています。

原料の稲わらには、近隣農家に栽培を依頼し、7月に青刈りした稲「ヤマヒカリ」を使います。ラインナップは写真左から「輪飾り（3個組）」、「リース」、「玄関用」の3種類になります。

〇しめ飾り企画スケジュール

どちらの産地のしめ飾りも**受注生産**となりますので、昨年までと同様に予約注文をして頂き、12月4日にお届けの予定です。

◆高倉さんのしめ飾り

11月4回（JOSOエール）：1回目注文受付 → お届けはどちらも

12月3回（JOSOエール）：2回目注文受付 **12月4回（12/25～12/27）**となります。

◆JA新潟かがやきのしめ飾り

11月4回（JOSOエール）：1回目注文受付 → お届けはどちらも

12月3回（JOSOエール）：2回目注文受付 **12月4回（12/25～12/27）**となります。

※尚、玄関・神棚等にご利用いただいていた「しめ縄（棒締め）」につきましては今年の企画はありませんのでご了承ください。

大進食品はおかげ様で40周年！ オリジナルエプロンを10名様にプレゼント



11月1回カタログ16ページで「大進食品特集」を掲載していますが、大進食品は今年で40周年を迎えました。

以前は常総生協の担当営業マンとして支えてくださり、現在は社長となられた宮沢芙美子さんからメッセージを頂きました。

常総生協の組合員の皆さま、いつもご愛顧いただきありがとうございます。お陰様で大進食品は皆さまの「美味しい！」に支えられ、今年で40周年を迎えました。

「ヨコハマの餃子」に始まり、グラタン、春巻き、コロッケと、いろいろなオリジナル商品を開発・ご提案させていただいてまいりました。その想いの根底にあるのは、加工品を上手に使っていただき、少しでも心にゆとりをもって食卓に笑顔を忘れないでいただきたい、ということ。それを形にしたのが、弊社のブランド「A mom(ア マム)」と姉妹ブランドの「Maman Fufu(ママンフフ)」になります。加工品だからこそ中身のしっかり見える確かなものを！をテーマに、そしてなにより美味しくて便利を一番にこれからもお届けさせていただきたいと思っております。

加工品は手抜き？ではなく、少しだけいい加減⇒良い加減に使ってみてください。忙しい日々の中、冷凍庫の中にお助けマンのようにストックしておいてみてください。

もちろん主原料は国産原料使用、第二階層まで遺伝子組換え原料不使用、化学合成添加物、化学調味料不使用のママ。そして何より美味しいママの冷凍食品だからお勧めしたいのです。

どうぞ一度ご賞味くださいませ。

株式会社大進食品 代表取締役 宮沢 芙美子

日頃の感謝の気持ちをこめて・・・と

大進食品さんからプレゼントを頂きました！数が限られているため、

今週、大進食品さんの商品をご注文の組合員さんに、抽選で10名様に

←こちらのオリジナルエプロンをお届けします。

こげ茶色の生地には黄緑色でママの文字がプリントされた、おしゃれなエプロンです。どうぞお楽しみに～♪ (商品部 稲垣)

